

ふるさと発見! あわっ子文化大使通信

あわ文化を次の世代に伝承し、徳島の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」のリポーターです。

次の世代へつなぐ

●あわっ子文化大使リポーター
城ノ内中等教育学校 南 瑠璃



私の家の近くには「立江八幡神社」があり、秋祭りの時には花火やお囃子の音が聞こえてきます。

花火は「吹筒花火」と呼ばれるもので、火薬をつめた竹筒を約7mの「はたて」の先端部分に取り付け、その竹筒から雨のように火花が飛び散ります。打ち上げ花火より近で見ることができ、迫力を肌で感じることができます。



立江吹筒花火

また、お囃子は地元の小学生が参加する立江祇園囃子伝承教室によるもので、だんじりの中で大太鼓、小太鼓、鉦、大鼓、小鼓、三味線といった和楽器で奏でます。私は三味線で参加しています。日常生活であり触れることのない和楽器を演奏できることはもちろん、指導して下さる地域の方々や卒業生との交流ができる貴重な場であると感じています。

私が生まれるずっと前から秋祭りは開催されています。地域の伝統行事に積極的に参加することで、次の世代へ伝統を引き継いでいきたいと思います。

●皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。
グローバル・文化教育課 ☎088-621-3054 FAX088-621-2882



フィッシュカツ風ハモフライ

徳島県産ハモって? ハモは吉野川等から栄養豊富な水が流れ込む紀伊水道で育ちます。徳島県はハモの全国有数の産地です。

材料 3人分
●骨切りハモ 9切れ
●揚げ衣(卵1個、小麦粉100g、水160cc)
●パン粉 適量 ●塩 適量 ●カレー粉 適量

レシピ
①ハモに塩とカレー粉を振る
②揚げ衣を混ぜ合わせたものにぐらせる
③パン粉を付けて揚げる

◀徳島県チャンネル(YouTube)でレシピ動画公開!もうかるブランド推進課

注ぎ込んだ時間が、豊かさに変わるから。

藍染作家 吉原ホルバート・ハンガさん

ハンガリーと日本文化の架け橋になるために

阿波藍が生み出す美しい色合いと、母国ハンガリーの刺しゅう技術を融合させ、独自のアート作品を生み出す藍染作家のハンガさん。日本の草木染めを学ぶため、2008年に母国の芸術大学から奨学生として来日しました。

「そこで初めて日本の藍染を知り、もっと深く研究したいと思いました。東京や京都の大学に留学するという選択肢もありましたが、恩師からの勧めもあり、阿波藍で有名な徳島を選んだのです」

藍の研究施設を持つ四国大学に留学後、約3年間にわたって阿波藍の栽培や染織の研究に没頭。その体験を論文にまとめ、ハンガリーでドクターの学位を取得しました。その知識と経験を活かし、母国の学生たちにも阿波藍の素晴らしさを伝えていきます。

世界からも魅力的に映る日本や徳島の伝統文化

ハンガさんの作品の特徴は、染色や編み、テキスタイルデザイン、縫製などの工程を、できる限り自身の手で行っていること。あえて効率的な作業から遠ざかり、その一つ一つの工程をゆくりと味わいながら作品づくりを行うことで、唯一無二の美しさを放つ作品を生み出し続けています。

「自然のサイクルの中でモノをつくるのは時間が掛かるけれど、それはとても豊かなこと。徳島で受け継がれる伝統文化は海外出身の私たちから見ても魅力的なものだし、それが近代日本の洗練された工業デザインにもつながっていると思います」

県内の保育園や大人向けの講座でも、藍染の魅力を伝えているハンガさん。「藍染の服は、やっぱり日本人がよく似合います」と笑顔で話してくれました。

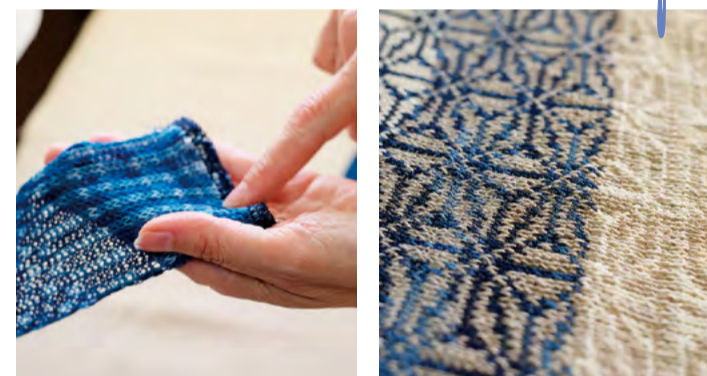
●「阿波藍」魅力発信展覧会2021

- とき/令和3年12月17日(金)から19日(日)まで
- ところ/あわぎんホール
- イベント概要/「ジャパンブルー」と呼ばれる日本の藍をはじめ、さまざまな染織の魅力が国内外へ発信する展覧会。
- 全国染織産業シンポジウム
- 「阿波藍」を用いた全国の匠の作品展示 ほか

●お問い合わせ先 徳島県観光政策課
☎088-621-2356 FAX088-621-2851



●「手間暇の中にこそ学ぶべきことが多い」とハンガさん。



●生地に織り込まれた、藍染の糸による幾何学模様美しい。



●実用的なものからアート系まで、作品の可能性は無限に広がる。

阿波藍の美しき伝統と可能性に魅せられて。

Tokushima Blue

古くから受け継がれる阿波藍に魅せられ、徳島に移住して創作活動を行う渡邊健太さんと吉原ホルバートハンガさん。それぞれが歩んできた道のりや体験から、阿波藍の魅力が見えてきます。

伝統工芸から、暮らしに寄り添う色へ。

Watanabe's 代表(藍師・染師) 渡邊 健太さん



●「畑仕事からお出かけまで幅広く着回してほしい」と渡邊さん。



●愛情たっぷりに仕込んだ染液。から、また一つ商品が生まれる。



●藍の生産から`すくも、づくりまで、Watanabe'sでは阿波藍の歴史をしっかりと守り育てている。

こだわりの一貫生産で藍染をもっと身近に

東京で貿易の仕事をしていた渡邊さんが、地域おこし協力隊員として上板町に移住したのが今から約9年前のこと。同時期に仲間と立ち上げた藍師・染師グループでの活動を経て、2018年4月に藍染製品の一貫生産を行う「Watanabe's」を設立しました。「経営者としてではなく、もう一度、現場で作品づくりに没頭してみたかった」と、修業時代を過ごした上板町で新たな挑戦を始めた理由を話します。

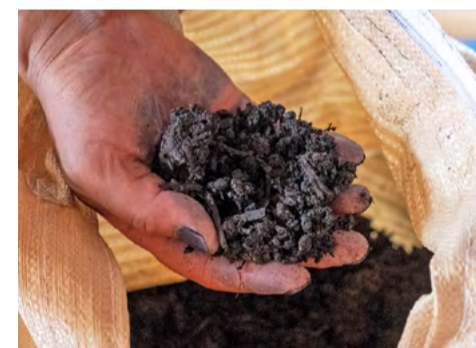
工房では、藍の栽培に始まり、染料となる`すくも、づくりや染色、製作までを実施。「阿波藍を用いたオリジナル製品を一貫してつくるファクトリーブランドを目指すことで、品質の高い製品を、比較的安価に提供できるよう努めています」と渡邊さんは言葉に力を込めます。

藍色の中に宿る地域の思いを感じてほしい

現在、古来より伝わる`天然灰汁発酵建ての技法を守りながらも、暮らしの中で機能的に着回せるよう、Tシャツやジャケット、パンツなど、阿波藍の豊かな藍色を活かした商品を作り続けています。

「種を蒔き、育て、染液をつくる工程のすべてが、その年の色として現れます。毎年微妙に異なる色と対峙しながら、自分の理想を追い求めていく。そこが、この仕事の楽しさでもあります」

徳島で生産される阿波藍には、農家や藍師の方々の頑張りや、地域の人々の温かい思いが詰まっていると渡邊さん。「その有り難さを噛みしめながら、暮らしの中で使い続けられる藍染製品を県民の方々に届けていきたい」と抱負を語ってくれました。



徳島県新型コロナ関連相談コールセンターについて

●新型コロナワクチン専門相談コールセンター

専門的な知識を有する看護師や保健師が対応し、接種による「副反応」や「医学的知見が必要となる専門的な相談」などを承ります。

☎0120-808-308 24時間対応 土・日・祝日含む FAX:0120-939-412 (フリーダイヤル) メール: vaccine_tokushima@bricks-corp.com



発熱等の症状が現れたら...
まずは、かかりつけ医に電話でご相談ください

●受診・相談センター

かかりつけ医がいない場合は、受診・相談センターにお電話ください。受診可能な「診療・検査協力医療機関」をご案内します。

☎0570-200-218 24時間対応 土・日・祝日含む

●その他、県内のコロナウイルスに関する一般相談窓口

☎0120-109-410 24時間対応 土・日・祝日含む 聴覚に障がいのある方など、電話での相談が難しい方は、FAXをご利用ください。 FAX:0120-946-199 (フリーダイヤル)

スタジアムに行こう!



ホームゲームの日程はこちら!



ホームゲームの日程はこちら!



県庁だより

県主催の講習会や募集などさまざまな情報をお知らせします。

資格・試験

●県警察官採用選考試験

【試験区分】警察官(再採用)
【とき】9月3日【ところ】県警察本部
【応募期限】7月30日
【問】県警察本部警務課 ☎621-2953 FAX623-7408

講座・講習

●読書感想文にチャレンジ2021

「本選びのこつ」「読み方のこつ」を一緒に考えます
【とき】7月24日13:30~15:00
【ところ】県立図書館【対象】小学3年生まで
【定員】20人(要申込)
【問】県立図書館 ☎668-3500 FAX668-6904

●夏休み出前講座

「地球温暖化とは何か」等を学ぶ講座
【とき】8月7日13:30~15:00
【ところ】県立図書館【対象】小学3~6年生
【定員】30人(要申込)
【問】県立図書館 ☎668-3500 FAX668-6904

募集しています

●県営住宅入居者

【募集戸数】53戸【申込】8月2・3日10:00~16:00に徳島県職員会館へ
【問】県営住宅供給公社 ☎666-3125 FAX666-3126
県営住宅PF管理センター ☎678-2271 FAX655-6255

●中央テクノスクール訓練生

【訓練科】①介護実務者・同行支援研修科2
②テレワーク実務科
【訓練期間】①9月1日~2月28日
②9月2日~3月1日
【ところ】①徳島県労働者福祉協議会②QLIP
【定員】①②20人【受講料】無料(教材費等別)
【応募期限】①8月11日②8月10日
【問】中央テクノスクール ☎678-4690 FAX678-4692

●南部テクノスクール受講生(9月入校生)

【訓練科】事務科【ところ】四国進学会阿南校
【訓練期間】9月1日~11月30日(母子事業分の準備講習期間 8月25日~8月31日)
【定員】15人(うち母子分1人)

【対象】公共職業安定所長から受講あっせんを受けた人
【受講料】無料(教材費別)
【申込】8月4日までに公共職業安定所へ
【問】公共職業安定所または南部テクノスクール ☎0884-26-0250 FAX0884-26-1121

●明るい選挙啓発ポスターコンクール作品

【対象】小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校の児童・生徒・学生
【応募期限】9月10日
【規格】四つ切りまたは八つ切り画用紙の大きさで、画材は自由
【問】県選挙管理委員会 ☎621-3205 FAX621-2829

お知らせ

●交通マナーアップ推進月間県民運動【推進項目】(7月1日~8月31日)
①全ての座席におけるシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
②運転時等における携帯電話等の使用禁止
③飲酒運転等悪質危険運転の根絶
【問】県消費者政策課 ☎621-2287 FAX621-2979

●旧優生保護法一時金支給申請受付

旧優生保護法による優生手術を受けた方は、一時金支給を受けことができます。
【問】県健康づくり課 ☎621-2220 FAX621-2841

●駅前労働相談会

職場の労務トラブルに無料でアドバイス。事前予約優先。【とき】7月18日13:00~
【ところ】ジビックセンター4階
【問】県労働委員会事務局 ☎621-3234 FAX621-2889

●ひきこもり相談のご案内

南部・西部では、各保健所でサテライト相談を実施しています。
【問】県精神保健福祉センター ☎602-8911 FAX652-2327

●催し

●レコード鑑賞会「ベートーヴェンとピアノ」
【とき】7月31日10:30~12:00
【ところ】県立図書館【定員】20人(要申込)
【問】県立図書館 ☎668-3500 FAX668-6904

※市外局番(088)を省略しています。